

しんにちは つるおか

No. 99

自然の恵みを願う心を大切に

みやけ ひとし
宮家 準 さん



文学博士。慶應義塾大学名誉教授。日本山岳修験学会名誉会長。宗教民俗学の視点で、約60年前から羽黒修験をはじめ全国の修験道を調査研究し『羽黒修験』『修験道－その歴史と修行』など著書多数。「松例祭の大松明行事」が、国重要無形民俗文化財に指定されたことを記念するシンポジウムの講師として来鶴。岡山県出身。

私の実家は「五流尊瀧院」という宗教法人「修験道」の総本山です。そのこともあり、東京大学大学院生時に全国の修験道を研究し、その一環で出羽三山を訪れ羽黒修験と出会いました。その後、秋の峰での山伏修行や松例祭の調査、また、戸川安章氏（本市名誉市民）とともに日本山岳修験学会や修験道サミットを羽黒で行いました。出羽三山や羽黒修験はとても興味深く、長く続いている私の研究テーマです。もともと修験道は、神道や仏教と違い岩や木、山々など自然の中に「カミ」を覓じ、権現として信仰してきました。また、五穀豊じょうなどを祈る四季の祭りや密接につながるもので、この祭りのために修行するものとも考えられています。豊かな恵みを願う人々の暮らしの中で、長く培われてきた信仰と言



ってもよいでしょう。羽黒修験も古くから伝わる修験道の特徴があり、「四季の峰」という季節ごとの

修行と祭りとが対になっています。冬の峰修行は大名そかから元旦にかけて行われる松例祭と対になっていますが、2人の松聖（まつひじり）と呼ばれる山伏は、100日間に及ぶこの修行の成果を、松例祭の「験くらべ」で競い合います。そして、勝った松聖の祈願した種もみが、五穀豊じょうをもたらすものとして庄内の檀那（だんな）に配られます。このように自然の恵みを願う文化が受け継がれていることが、鶴岡を中心とする庄内の豊かさの源になっているのではないのでしょうか。松例祭を支える地区の人たちも「この役は祖父も父もやったので、自分もしっかり努めよう」としていて、地域に根ざした行事を大切に作る風土が続いていると思います。

庄内を訪れると、初めて来た60年前と変わらず、山、川、海など多様な自然の爽り豊かさを実感することができます。この豊かさは生きる支えにもなるものだと思います。皆さんの身近にある自然を大切にしてもらいたいですね。

「羽黒山の峰入りと松例祭」と題して講演（9月12日/いでは文化記念館）

A 雑がみは分類し資源回収に出しましょう
市では、地域住民で組織する団体（自治会、子供会等一定の地域内で構成される、営利を目的としない団体）による集団資源回収を推進し、家庭ごみから分別した資源ごみと再利用可能物のリサイクルを進めています。
雑がみは、古紙類として資源回収品目の一つになっていますが、燃やすごみとしてごみステーション

Q 資源回収に出される雑がみが少ないと思います
地区の子供会で定期的に資源回収をしています。
集まった古紙類を見たところ、新聞や雑誌、段ボールがほとんどで、ティッシュペーパー・お菓子の箱、トイレトペーパーの芯などの雑がみは少ないです。
雑がみを資源回収に出せることを知らない家庭が多いのではないのでしょうか。

声

voice

市への意見や質問、広報を読んでの感想などをお寄せください。
◎送り先 本所総務課
☎25 - 2111内線316

スクールライフ!

鶴岡市にある10校の高等学校と高等専門学校。
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

No. 4 中央祭／鶴岡中央高校



紹介者 生徒会副会長 / 本間 陸さん(普通科3年次)
写真 生徒会長 / 本間 大輝さん(//)
左から 生徒会副会長 / 鈴木 陸央さん(//)

「中央祭」は私たちの高校の目玉行事です。今年は、友人や学校全体、地域とのつながりを深め、「全員が笑顔になれる中央祭」を目標に開催しました。

中央祭ならではの企画が、3年次による「ダンスコンテスト」です。3年次になるとすぐ、このコンテストに向けて、曲・振り付け・構成等をクラスごとに考え、練習します。部活動や勉強と平行しての練習なので、かなり大変ですね。時には意見が合わず、ぶつかることも。でも、本番で最高のダンスをするために、問題を解決して練習を重ねていきます。

本番で披露されるユーモアたっぷり、かっこよく、またかわいい、各クラスの個性あるダンス。1・2年次、先生も審査員として参加し、とても盛り上



[学校概要]

○創立…平成10年(鶴岡家政高校と鶴岡西高校が統合) ○学科…普通科、総合学科 ○地域との触れ合い、研究機関との連携等を図りながら、「未来探求」「産業社会と人間」「総合学習」「課題研究」をテーマに学んでいる

平成26年度中央祭(6月27日・28日開催)テーマ
“LINK～みんなで繋がる笑顔の夏～”

がります。終了後は他クラスの頑張りもたたえ合い、学校全体が1つになったような充実感がありました。

もう1つの目玉が、中央祭恒例の全校制作です。今年は「モザイクアート」を制作しました。生徒・先生等学校に関わる全ての人の写真約3,000枚を撮影。それを使って迫力ある1枚の絵を作成しました。当日、完成した作品を披露し、みんなから「すごい」という声を聞いたときは、うれしかったですね。

先輩たちが築き上げてきたものを基に、更に進化した中央祭となるよう、毎年いろいろな工夫を凝らしています。生徒だけでなく、地域の方にも楽しんでいただきたいと思いますので、来年の中央祭にぜひおいでください。



ダンスコンテスト



モザイクアート制作



モザイクアート完成作品

ンに出している家庭が多くあると思われまます。
資源のリサイクルを進めるためにも、雑がみを分類し、資源回収に出していただくように、皆様のご協力をお願いします。

■資源回収に出せる資源ごみ

▼古紙類(種類別に縛って出してください)

▼新聞、チラシ

▼飲料用パック(水洗い、乾燥して束にしてください)

▼段ボール

▼雑誌

▼雑がみ:ティッシュペーパー、お菓子・食品の箱、パンフレット、包装紙、カレンダー、ハガキ、紙袋、封筒、コピー用紙など(ビニールや金属類等は取り除く。食品が付いた物や汚れた物は出せません。封筒など小さい物は、紙袋に入れても出せません)

▼金属類:空き缶(スチール缶、アルミ缶)など

▼びん類:一升瓶、ビール瓶など(再使用できるもの)

※回収する品目や方法は、実施する団体や業者で違いがありますので、地域の資源回収実施団体にご確認ください。

〈廃棄物対策課〉